

令和元年度 事業報告

地域福祉推進を目的とし、住民の皆様や各種団体などからいただいたご意見やご要望をもとに、志免町の「地域福祉計画」と協働して策定いたしました『第5次地域福祉活動計画』（平成29年度～平成33年度）に基づいた活動を引き続き、行ってまいりました。

その中の重点的取り組みとして挙げていました「見守り活動の支援」について各町内会での取り組み状況を把握したり、「四者合同研修会」では災害時に備えた日頃からの見守りネットワーク活動の重要性などの研修を実施しました。

加えて、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）業務で、新たな取り組みとして地域の福祉課題を町内会だけでなく、他分野の活動者や企業などと協働して問題解決を図ることを目的とした「ふくしのまちづくりプロジェクト」を開始し、申し込まれた町内会と協議を重ねています。

今年度は『第6次地域福祉活動計画』（令和3年度～令和8年度）を志免町の「福祉総合計画」との協働策定を開始し、令和2年度の完成に向けて取り組んでいます。

また受託事業で、障がい者地域生活支援事業として「身体・知的障害者デイサービス」を令和2年2月まで実施していましたが、3月からはその2つを統合し「地域活動支援センターひまわり」として、身体・知的障がいのある方を対象に社会との交流などが出来て、生きがいを感じてもらえる「居場所」として新たに事業を開始しました。

自主事業においては、「高齢者デイサービス輝き」（介護保険）でタブレット端末導入などの事務作業の効率化について取り組みを始めています。

なお、今年度の終盤におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、残念ながら幾つかの事業などを中止せざるを得ない状況となってしまいました。この状況は令和2年度に入っても続いておりましたが、一刻も早く感染が終息し、通常の活動などが再開出来るよう願ってやみません。

今後とも、住民の皆さんや各関係機関のご支援とご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

令和元年度の事業実施の状況について、次のとおり報告いたします。

令和元年度 志免町社会福祉協議会 地域福祉事業報告

1. 地域福祉活動や各種事業の充実促進

(1) ふれあいのまちづくり事業の推進

①小地域福祉活動への支援

・福祉推進委員活動の推進

町内会で、おひとり暮らし高齢者や障がい者などの援護が必要な方への見守り安否確認活動を組織的に展開していただきました。

	令和元年度	平成 30 年度
見守りネットワーク組織化	30 町内会	30 町内会

・福祉推進委員視察研修会

特徴的な取り組みをしている居場所活動を対象に、希望する視察先を選択する形で実施しました。

令和元年度	平成 30 年度
みんなの居場所「いこうやデイ」 (ボランティアグループ) 10月5日(土) 12人	東校区 6人 南校区 7人 中央校区 1人 西校区 5人
小学校の学習支援活動「パワーアップスクール」 (別府一町内会) 10月12日(土) 3人	
「ふれあい・いきいきサロン」 (向ヶ丘町内会) 10月18日(金) 6人	
参加者 計 21人	参加者 19人

※平成 30 年度は校区毎に視察先を設けて実施していました。

・町内会長・福祉推進委員合同研修会

地域福祉活動を中心に担っている町内会長と福祉推進委員の方々に他の先進地区の活動を知っていただく機会として実施しました。

開催日：1月21日(火)

視察先：久留米市社会福祉協議会(南校区社会福祉協議会)

	令和元年度	平成 30 年度
参加者内訳	町内会長 17人 福祉推進委員 20人	町内会長 16人 福祉推進委員 21人
合計	37人	37人

- ・福祉協力員への支援

各町内会の福祉協力員の方々が、安心して福祉活動が出来るように保険に加入しました。

	令和元年度	平成 30 年度
福祉協力員	649 人	644 人

- ・見守りネットワーク活動推進の支援

各町内会の活動状況を確認すると共に、見守りネットワークの重要性に関する講話を町内会や町内会長研修会で行いました。

また「楽しく食べて語ろう会」の案内やカレンダー配布等を通じて、見守り対象者宅を訪問していただきました。

- ・居場所づくり支援

居場所活動の周知啓発を目的とした「志免町の居場所事例集」の令和元年度版を作成しました。また福祉推進委員視察研修会でも居場所を見学しました。

- ・地域福祉活動費助成

7月に各町内会へ賛助会還元金として「地域福祉活動費」を交付しました。

②住民参加による地域福祉事業

1) 地域福祉活動推進のための啓発普及

- ・四者合同研修会

地域の中核的役割を担っている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に地域福祉活動の必要性を理解して頂くために研修会を実施しました。

開催日：5月21日（火）

講演：「九州北部豪雨災害から見えた地域におけるつながりの重要性」

講師：大刀洗町社会福祉協議会 地域福祉係長 池松昌亀 氏

パネルディスカッション：「災害時にも備えた平時からのネットワーク活動の重要性と手法について」

パネラー：志免町役場生活安全課安全安心係 係長 瓜生康亮 氏

主査 嘉多山徹 氏

志免二町内会 会長 清原 淳 氏

志免町社会福祉協議会 係長 宿利幸央 氏

コーディネーター：大刀洗町社会福祉協議会 地域福祉係長 池松昌亀 氏

	令和元年度		平成 30 年度	
参加者内訳	町内会長	15 人	町内会長	14 人
	民生児童委員	22 人	民生児童委員	25 人
	福祉推進委員	21 人	福祉推進委員	21 人
	理事・監事・評議員・顧問	34 人	理事・監事・評議員・顧問	27 人
合 計	92 人		87 人	

・四者合同会議

赤い羽根共同募金にご協力を頂いている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に「赤い羽根共同募金運動」について説明を行い、町内会毎に街頭・法人募金の実施日程を協議いただきました。

開催日：8月27日（火）「赤い羽根共同募金運動について」

（県共募による講演、志免町での配分事業の説明、校区別協議）

	令和元年度		平成 30 年度	
参加者内訳	町内会長	15 人	町内会長	16 人
	民生児童委員	22 人	民生児童委員	27 人
	福祉推進委員	22 人	福祉推進委員	21 人
	理事・監事・評議員・顧問	32 人	理事・監事・評議員・顧問	35 人
合 計	91 人		99 人	

・町内会や関係団体等への出前ふくし講座

地域福祉活動やボランティア活動への理解と関心を深めていただくことを目的に、町内会などに出向き、福祉体験や講話を行いました。

	令和元年度	平成 30 年度
回 数	37 回	34 回
参加者数	1,261 人	1,570 人

・認知症サポーターキャラバン活動

「認知症サポーター養成講座」

地域包括支援センターや町内のキャラバン・メイトと協力して開催しました。

平成 22 年度から「認知症サポーター養成講座」を開催し、受講者数は延べ 2,761 人となっています。

	令和元年度	平成 30 年度
参加者	5 回 283 人	9 回 343 人

「志免町キャラバン・メイト連絡会」

第 1 回 6 月 10 日（月）、第 2 回 2 月 21 日（金）

「認知症サポーター・メイト等フォローアップ研修」

7 月 30 日（火）14：00～、18：00～（2 回）

認知症ささえあい上映会：「ケアニン～あなたでよかった～」

参加者数：第一部 126 人、第二部 106 人（合計 232 人）

- ・第 17 回障がい者福祉啓発事業「やさしさのつどい」

障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」、ボランティア連絡協議会と
共同で「障がい」に関する啓発事業を行いました。

今年度は「第 8 回社会福祉大会」と同時開催としています。

開催日：11 月 24 日（日）10：00～15：30

※参加者数はいずれも推計（令和元年度は社会福祉大会参加者含む）

	令和元年度	平成 30 年度
参加者	700 人	970 人

2) 在宅高齢者・障がい者等に対する福祉サービス

- ・在宅介護者のつどい

「介護講座」（第 1 回） 8 月 6 日（火）

講演：「家庭介護の予備知識～長く続ける介護の秘訣～」

講師：福岡県介護福祉士会 山崎佳代 氏

「介護講座」（第 2 回） 8 月 22 日（木）

講演：「成年後見制度について～知っておきたい制度の活用法～」

講師：法テラス法律事務所 弁護士 柿木 翼 氏

「日帰りバスハイク」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2 月 28 日（金）原鶴温泉「延命館」（朝倉市）、三連水車の里あさくら

令和元年度		平成 30 年度	
第 1 回 介護講座	8 人	第 1 回 介護講座	24 人
第 2 回 介護講座	17 人	第 2 回 介護講座	12 人
リフレッシュバスハイク	—	リフレッシュバスハイク	21 人
計	25 人	計	57 人

- ・福祉用具の貸出（車いす）
町内在住の方に向けて、車いすの貸出を行っています。

	令和元年度	平成 30 年度
貸出件数	70 件	63 件

3) 児童・青少年の健全育成

- ・中学生ボランティアスクール（全 2 回）

志免町内の中学生を対象に、学習・体験を通して福祉について関心を高め、地域に住む人々の多様性を知り、ともに生きる地域の一員として、自分にできることを実践していこうとする姿勢を身につけることを目的に実施しました。

1 日目 8 月 3 日（土）9：30～15：30

「ふくし」についての講話

みんなの居場所「いこうや」デイでのボランティア体験

認知症サポーター養成講座

場所：みんなの居場所「いこうや」デイ会場（志免町内）など

2 日目 8 月 8 日（木）9：30～16：00

「ふれあいの部屋」で障がいのある方との交流

「レストランゆずのき」で働いている障がいのある方からの講話

「工房まる」のメンバーの方と芸術活動を通しての交流

場所：志免南小学校、レストランゆずのき等

	令和元年度	平成 30 年度
参加者数	16 人	16 人

- ・小中学校福祉教育連絡会

小中学校福祉教育担当者連絡会を年 2 回開催し、社会福祉協議会からのお知らせや各校の福祉への取り組みに関する情報交換などを行いました。

第 1 回 6 月 10 日（月）、第 2 回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

- ・小中学校への福祉教育費助成

学校における福祉教育にかかる費用について助成を行いました。

	令和元年度	平成 30 年度
助成校	西小学校、中央小学校 東小学校、南小学校	西小学校、中央小学校 東小学校、南小学校
計	4 カ所	4 カ所

- ・小中学校福祉教育授業、チャレンジひろば等における「出前ふくし講座」およびボランティア調整
「総合的な学習」等への企画提案や講師派遣の調整を行いました。

【社会福祉協議会職員による出前ふくし講座など】

開催場所	回数	内 容
チャレンジひろば in 東	1 回	障がいについての講話、車いす体験
チャレンジひろば in 南	1 回	障がいについての講話、車いす体験
チャレンジひろば in 中央	1 回	障がいについての講話、アイマスク体験
チャレンジひろば in 西	1 回	障がいについての講話、アイマスク体験
西小学校	1 回	視覚障がいの学習
東小学校	1 回	障がいについての講話、アイマスク体験、車いす体験
中央小学校	3 回	①「ふくしについて」などの講話 ②ボランティアについて講話 (まちづくり支援室と協働) ③視覚障がいについての講話、アイマスク体験
計	9 回	

【ボランティア調整】

開催場所	回数	内 容
南小学校	2 回	ボランティア調整 瞳の会
西小学校	1 回	ボランティア調整 瞳の会
東小学校	2 回	ボランティア調整 手話の会
中央小学校	2 回	ボランティア調整 瞳の会 (2 回) 手話の会 (4 回)
計	7 回	

- ・福祉用具の貸出（点字板、点字ブロック、白杖、アイマスク）
志免西小学校に点字ブロックと白杖を貸し出しました。
- ・学習関連事業の充実（学習サポート事業）
世帯の状況等により、学習機会の少ない町立の小・中学校の生徒を対象にボランティアによる学習支援を実施しました。
日時：毎週土曜日 10 時～12 時（祝日、年末年始、学校行事などの際は中止）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 月末から 3 月は中止。

対象：志免町立の小学5年生から中学3年生の生徒

	令和元年度	平成30年度
開所日	42日	40日
参加生徒	2人	4人
ボランティア	23人	23人

・不登校・引きこもり世帯の支援（不登校・引きこもり家族交流会）

当事者同士の交流やニーズ把握を目的に定期的に家族交流会を開催しました。

第1回 5月11日（土）茶話会、お茶菓子交流会

第2回 7月20日（土）勉強会、茶話会

講演：「不登校・ひきこもりと向き合うために～家族ができること～」

講師：臨床心理士 山川京子 氏

第3回 9月8日（日）不登校・ひきこもりを支援する講演会

講演：「不登校・ひきこもりを支援する講演会～不登校・ひきこもりの子どもの未来に向けてわたしたちができること～」

講師：不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」会長 木村素也 氏

第4回 11月8日（金）「福岡若者サポートステーション」見学

※参加者申込み無しのため中止。

第5回 1月11日（土）筑後市不登校・ひきこもり家族会「サルビアの会」との交流会（筑後市社会福祉協議会）

第6回 3月7日（土）不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」の勉強会・交流会の参加（当仁公民館）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

	令和元年度	平成30年度
開催日	4日	6日
延べ参加者	32人	50人

4) 高齢者、障がい者、児童・青少年等の社会参加

・70歳以上ひとり暮らしのつどい「楽しく食べて語ろう会」

町内会長や民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事の方々にも呼びかけ、5回に分けて開催しました。

開催日：中央校区①6月4日（火）、西校区6月11日（火）、中央校区②6月18日（火）、東校区6月25日（火）、南校区7月2日（火）

開催場所：老舗割烹「松活」

校 区	令和元年度	平成 30 年度
東校区	85 人	79 人
南校区	54 人	53 人
西校区	76 人	76 人
中央校区	110 人	73 人
計	325 人	281 人

・「ふれあい・いきいきサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、主に高齢者とボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	令和元年度	平成 30 年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6 町内会〕	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6 町内会〕
南校区	水鉛、桜丘一、桜丘中央 桜丘南、石橋台〔5 町内会〕	水鉛、桜丘一、桜丘中央 桜丘南、石橋台〔5 町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡〔8 町内会〕	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡〔8 町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一、別府二 別府三、鏡、アネシス、御手洗 サンリヤン〔9 町内会〕	南里二、別府、別府一、別府二 別府三、鏡、アネシス、御手洗 サンリヤン〔9 町内会〕
計	28 町内会	28 町内会

・「子育てサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、子どもとその親、ボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	令和元年度	平成 30 年度
町内会	水鉛、志免四、南里二、 サンリヤン、モントーレ	吉原、水鉛、志免四 南里一、南里二 サンリヤン、モントーレ
計	5 町内会	7 町内会

・「新たな居場所活動」助成

町内会で開催される「新たな居場所活動」への助成を行いました。

	令和元年度	平成30年度
町内会	田富、松ヶ丘、向ヶ丘 桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、志免五 南里一、王子八幡 南里二、サンリヤン	田富、松ヶ丘、桜丘一 桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、志免五 南里一、王子八幡 サンリヤン
計	13 町内会	11 町内会

・地域型「楽しく食べて語ろう会」助成

町内会で開催される「楽しく食べて語ろう会」への70歳以上ひとり暮らしの方の参加に対する助成を行いました。

	令和元年度	平成30年度
東校区	田富 15 人、成和 9 人 向ヶ丘 22 人、松ヶ丘 15 人 東区 11 人 [72 人]	田富 15 人、成和 10 人 向ヶ丘 23 人、松ヶ丘 18 人 東区 13 人 [79 人]
南校区	吉原 2 人、水鉛 3 人 桜丘中央 15 人、桜丘南 9 人 石橋台 5 人 [34 人]	吉原 2 人、水鉛 3 人 桜丘中央 20 人、桜丘南 12 人 石橋台 4 人 [41 人]
中央校区	志免二 2 人、志免四 4 人 志免五 5 人、坂瀬 28 人 南里一 7 人、南里三 9 人 王子八幡 13 人 [68 人]	志免二 7 人、志免四 8 人 志免五 8 人、志免六 13 人 坂瀬 33 人、南里一 7 人 南里三 8 人、王子八幡 12 人 [96 人]
西校区	南里二 11 人、別府 15 人 別府一 14 人、別府二 20 人 別府三 3 人、鏡 9 人 アネシス 12 人、御手洗 2 人 サンリヤン 3 人 [89 人]	南里二 8 人、別府 8 人 別府一 10 人、別府二 23 人 別府三 4 人、鏡 7 人 アネシス 12 人、御手洗 2 人 サンリヤン 1 人 [75 人]
計	26 町内会 263 人	27 町内会 291 人

・「ふくしの世代間交流」助成

高齢者や子どもなど、世代を超えて交流を図る行事を行う町内会に助成を行いました。

	令和元年度	平成 30 年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘 志免三、松ヶ丘、東区 〔6 町内会〕	田富、成和、向ヶ丘 志免三、松ヶ丘、東区 〔6 町内会〕
南校区	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、石橋台 〔6 町内会〕	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、石橋台 〔6 町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡 〔8 町内会〕	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡 〔8 町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡 アネシス、御手洗 サンリヤン、モントーレ 〔10 町内会〕	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡 アネシス、御手洗 サンリヤン、モントーレ 〔10 町内会〕
計	30 町内会	30 町内会

・志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」活動への支援

「こころのまど」は、町内で活動する障がいのある当事者団体および家族会の計 6 団体で構成されています。団体間の連携を図りながら、障がい者福祉の啓発活動を行っており、その活動支援を行いました。

主な活動：交流会、バスハイク、視察研修、定例会、勉強会など

・高齢者団体、障がい児・者団体、在宅介護者団体等活動への支援

「ひとり暮らしの会『さくら会』への支援」

70 歳以上のお一人暮らしの方の交流を目的とした「さくら会」への活動支援を行いました。

主な活動：バスハイク（年 7 回）

「障がい児・者団体連絡協議会『こころのまど』所属団体への支援」

「こころのまど」所属団体への支援を行っています。

○発達がゆっくりとした子どもたちの自立を考える親の会「すてっぷくらぶ」

○「志免町身体障がい者福祉協会」

○障がいのある子もない子も共に演劇を！「劇団きらきら」

- ゆっくりっ子と家族が楽しむ「おはなし会げんき！」
- 「ツモローの会」
- 視覚障がい者サークル「志免瞳の会」

「在宅介護者の会『すみれの会』への支援」

介護者の会「すみれの会」の定例会に参加するなど、活動に関する支援を行いました。

主な活動：定例会、勉強会、バスハイク、新年会など

・子育て世帯向け事業

「子育て支援講座」（茶話会含） 9月21日（土）

子どもの発達・発育についての講座を開催することで、保護者の子育てに対する不安の軽減や親子遊びの方法、子育てに関する相談窓口を知って貰い、保護者の方が安心して子育て出来ることを目的に実施しました。

講義：「子どもの発育・発達—ことばをそえるだけでいい—」

講師：西南学院大学 准教授 鹿島なつめ 氏（臨床心理士）

	令和元年度	平成30年度
第1回	11人	21人
第2回	—	27人
計	11人	48人

・レクリエーション道具、遊具、チャイルドシートの貸出

○レクリエーション道具、遊具の貸出

	令和元年度	平成30年度
件数	155件	157件

○チャイルドシートの貸出

	令和元年度	平成30年度
件数	29件	32件

5) ボランティア活動の促進

・各種ボランティア講座

「福祉ボランティア入門講座」

ボランティアに関する講話、活動者からボランティア団体の紹介、アイマスク・車いす体験を行いました。

開催日：1月22日（水）

	令和元年度	平成 30 年度
受講者	受講者 3 人	受講者 4 人

・地域支えあい事業

日常生活の中で、自分や家族だけでは解決が出来ない困りごとを抱えている方々に「利用会員」として登録してもらい、それに対して、「協力会員」として登録した住民の方が、必要な支援を行うことによって、その解決を図るものです。

	令和元年度	平成 30 年度
利用会員	19 人	26 人
協力会員	26 人	27 人
活動回数	7 回	9 回

・志免町ボランティア連絡協議会活動への支援

福祉関係ボランティアの計 9 団体に結成された志免町ボランティア連絡協議会への活動支援を行いました。

・志免町ボランティア連絡協議会所属団体活動への支援

志免町ボランティア連絡協議会所属団体への活動支援を行いました。

○志免町手話の会「指友会」

○志免テープの会「あじさい会」

○志免点訳サークル「ほたるの会」

○介護ボランティア「コスモスの会」

○障がい児（者）を支える会「志免町 野の花会」

○障がい者デイサービス支援ボランティア「レインボーグループ」

○視覚障がい者サークル「志免瞳の会」

○志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」

○大道芸ボランティア「てまり一座」 合計 9 団体

・町内のボランティア団体への支援

ボランティア活動保険の加入受付などを行いました。

・ボランティア関係機関との連携

まちづくり支援室と連携し、情報交換や中央小学校での福祉教育を共に行いました。

・ボランティア育成・福祉団体等への助成

ボランティアおよび福祉団体等への助成について、配分申請内容について配分審査会を設けることで、適正な助成に努めました。

助成対象事業	令和元年度		平成 30 年度	
	申請件数	決定件数	申請件数	決定件数
団体活動運営費	12 件	12 件	12 件	12 件
団体研修事業費	3 件	3 件	3 件	3 件
備品購入費	1 件	1 件	2 件	2 件
地域連携活動支援事業	2 件	2 件	2 件	2 件
計	18 件	18 件	19 件	19 件

③福祉施設協働事業

・ふくおかライフレスキュー事業への参画

糟屋郡内の社会福祉法人が連携し、生活困窮者支援活動を行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、相談対応や会議等へ参加しました。

④総合相談（法律相談・交通事故相談・福祉相談）

あらゆる悩みごとの解決の糸口を探すという観点から、他の相談機関とも連携し、住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言や援助で問題の早期解決、福祉の推進を図りました。その他、職員による福祉相談も随時実施しました。

	令和元年度		平成 30 年度	
	日	件数	日	件数
法律相談	24 日	140 件	24 日	138 件
交通事故相談	10 日	10 件	9 日	12 件

⑤広報活動の充実

・「社協だより」の発行と内容の充実

年 6 回発行（他 共同募金関係報告 1 回）

・ホームページ、SNS の活用

ホームページ・SNS（フェイスブック）でお知らせや事業報告などを随時掲載しました。

⑥その他

・災害ボランティアセンター体制整備

志免町での大規模災害に備えた「災害ボランティアセンター」の実施に伴う体制整備として、職員に向けた「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施しました。

開催日：11 月 17 日（日） 志免町社協職員 30 人参加

・臨時食料品等給付・貸出事業

諸事情により、経済的に困窮し、食事の確保が難しい世帯を対象に、食料給付および調理器具などの貸出を行いました。

	令和元年度	平成30年度
給付・貸出世帯	8件	15件

・第5次地域福祉活動計画の進捗状況把握・第6次地域福祉活動計画

第5次地域福祉活動計画の進捗状況は、福祉部会にて報告を行いました。

第6次地域福祉活動計画は、福祉課が策定する「福祉総合計画」と協働して策定を行い、令和2年度の完成に向けて、福祉課や事業者との会議、住民アンケートを実施しました。

・法人化40周年記念「第8回社会福祉大会」

当会が昭和54年に社会福祉法人として、発足以来今年で40年を迎えたことを記念し、記念式典および記念講演を行いました。

開催日時：11月24日（日）10：00～12：30

記念式典：社会福祉功労者への表彰

社会福祉功労者表彰状贈呈 個人9名、2団体

社会福祉功労者感謝状贈呈 個人1名、2団体（法人含）

志免町プルタブ実行委員会よりレクリエーション道具の寄贈、
40周年のあゆみ報告

記念講演：「幸福を生み出す福祉活動～増進型地域福祉とは何か～」

講師：桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 小野達也 氏

(2) 社会福祉充実計画

社会福祉法人の留保金を社会および地域貢献に使用するとして、町内の小中学校への支援として「志免町立小中学校環境整促進事業」を行いました。

町内の小中学校に申請を挙げて貰い、以下のとおり備品を寄付しています。

学校名	申請内容
志免西小学校	グループ発表ボード×6台、ハンディ掃除機×4台
志免中央小学校	視聴覚室プロジェクター修繕
志免東小学校	ソフト跳び箱、フォーム跳び箱 ラウンドブロック×2台、逆上がり補助機
志免南小学校	CDポータブルシステム×10台 ワイヤレスポータブルスピーカー×3台
志免中学校	プロジェクター、デジタルワイヤレスアンプシステム スクリーン掲示板、レーザーポインター
志免東中学校	プロジェクター

(3) 受託事業

①福祉バス事業【役場福祉課より】

志免町内の団体が研修などをされる際に、バスを運行しました。

(有料道路・駐車場は利用者負担。)

	令和元年度	平成 30 年度
運行回数	102 回	122 回
利用者数	1,935 人	2,375 人
1 回当たり	19.0 人	19.5 人

②外出支援サービス【役場福祉課より】

公共交通機関を利用することが困難な高齢者や、障がいのある方に対して、利用者の居宅と病院や福祉施設の間をリフト付車両にて送迎するサービスを行いました。

(※片道 30 km の範囲迄。有料道路・駐車場で発生した料金は利用者負担。)

	令和元年度	平成 30 年度
高齢者	281 回	293 回
障がい者	89 回	118 回
合 計	370 回	411 回

③障害者在宅介護支援センター事業【役場福祉課より】

・相談事業

障がいのある方が、自分らしく生活できるよう、ご本人・ご家族からの相談に応じ、情報提供や関係機関との連携など必要な支援を行いました。(相談無料。)

	令和元年度	平成 30 年度
相談延件数	3,353 件	2,068 件

・支援区分調査

介護給付の障害福祉サービス（ヘルパーなど）を利用するために必要な「障害支援区分」（1～6 区分）の認定調査や概況調査（※）の委託を受け実施しました。

	令和元年度	平成 30 年度
調査数	94 件	175 件

※概況調査…訓練等給付の障害福祉サービス（就労移行支援など）を利用するために必要な調査。

・計画相談支援

障がいのある方への障害者総合支援法におけるサービス利用などの支援（サービス等利用計画作成）を行い、関係機関と連携し必要な支援を行いました。

(利用料金：無料)

	令和元年度	平成 30 年度
サービス利用支援等 (サービス等利用計画作成)	106 件	100 件
継続サービス利用支援等 (計画の実施状況把握)	283 件	193 件

④障がい者地域生活支援事業【役場福祉課より】

自立の促進・生活の改善・身体機能の維持向上を図ることができるようセンターに送迎し、機能訓練、創作活動、簡易作業、食事入浴などのサービスを提供し、介護されているご家族にも「ゆとりの時間」をもつていただくことも目的として「身体・知的障害者デイサービス」を令和 2 年 2 月まで実施しました。

・身体障害者デイサービス (デイサービス青空)

	令和元年度 (※)	平成 30 年度
実施日数	212 日	242 日
利用延人数	844 人	1,383 人
1 日平均利用人数	3.9 人	5.7 人

・知的障害者デイサービス (デイサービス太陽)

	令和元年度 (※)	平成 30 年度
実施日数	213 日	241 日
利用延人数	1,115 人	1,080 人
1 日平均利用人数	5.2 人	4.5 人

※身体・知的障害者デイサービス共に令和元年度は、平成 31 年 4 月から令和 2 年 2 月までの数となります。

令和 2 年 3 月からは、その 2 つを統合した「地域活動支援センターひまわり」として開所しています。地域で生活されている身体・知的障がいのある方を対象に社会との交流などが出来て、生きがいを感じてもらえる「居場所」として事業を行っています。センターに送迎し、食事・入浴・創作的活動などそれぞれの方の希望などに応じてサービスを提供しています。

・地域活動支援センター「ひまわり」

	令和元年度
実施日数	21 日
利用延人数	88 人
1 日平均利用人数	4.2 人

※地域活動支援センターの令和元年度は、令和2年3月のみの数になります。

※「デイサービス青空・太陽」から「ひまわり」に移行してからも「福祉課」と月1回、「情報交換会議」を開催しています。

⑤子育て支援事業【役場子育て支援課より】

母子・寡婦・父子家庭・産前産後の方を対象に、ご自宅に伺い、家事援助を行いました。

	令和元年度	平成30年度
活動延時間数	6時間	0時間

⑥生活福祉資金貸付事業【福岡県社会福祉協議会より】

低所得者、高齢者、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として、民生児童委員と社会福祉協議会が協力して運営している貸付事業です。

	令和元年度	平成30年度
相談件数	86件	93件
申請件数	25件	41件
決定件数	26件	35件

⑦日常生活自立支援事業【福岡県社会福祉協議会より】

認知症、知的障がい、精神障がいのある方などで、判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用や日常的金銭管理などのお手伝いをしました。

	令和元年度	平成30年度
契約件数	7件	6件
新規契約	1件	1件
解約	1件	1件
支援回数	94回	63回

⑧共同募金事業 募金事務代行【福岡県共同募金会より】

福岡県共同募金会志免町支会としての事務業務を実施しました。

⑨生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）【役場福祉課より】
誰もが住みよいまちづくりを目指し、住民同士のつながりや活動を推進する「生活支援コーディネーター」（地域支え合い推進員）業務を行いました。
県などが開催する連絡会などにも参加をしました。

- ・協議体（地域ケア推進会議）への参加

開催日：2月10日（月）

テーマ：男性の地域活動等への参加について

- ・「地域の支え合い通信」発行（年2回）

協議体で話し合った結果や町内会が行っている取り組み等、生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動等を紹介しました。

- ・地域での実態調査及び話し合いの場づくり

地域の福祉課題に対して、他分野の活動者や企業などと協働して問題解決を図ることを目的とした「ふくしのまちづくりプロジェクト」を始め、希望された町内会でアンケートを実施し、地域の福祉課題を把握して必要に応じて解決策等を話し合いました。

「ふくしのまちづくりプロジェクト」（テーマ：買物支援）

申請：2町内会、アンケート実施：1町内会、話し合い：1町内会（4回）

「実態調査」の実施（地域での支え合い活動について）

アンケート実施：2町内会、話し合い・勉強会：2町内会（10回）

- ・「志免町の居場所事例集」の作成・更新

志免町で行われている居場所などの情報を掲載した事例集を更新し、地域福祉活動者や医療・介護専門職などへ配布し、周知しました。

- ・「社会参加・交流の場」の情報収集及び一覧作成

主に公民館で行われているサークル活動や自主的な活動の情報を集め、一覧を作成・情報提供しました。（23カ所 計118団体）

2. 自主財源の確保

（1）自主事業の経営と拡充

①指定居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）による「介護保険」についての相談や申請代行、ケアプラン作成および各種サービス業者との調整や連絡などを行いました。

(利用は無料。) ケアマネジャー3人体制で取り組んでいます。

	令和元年度	平成 30 年度
ケアプラン作成	1,281 件	1,032 件

②指定訪問介護（ホームヘルプサービス）・介護予防訪問介護事業

利用者のお宅にホームヘルパーが伺って、生活援助（掃除・調理・洗濯・買物など）や身体介護（入浴・排泄・食事の介助など）を行いました。

(利用料：介護保険のサービス単価に準ずる。)

	令和元年度	平成 30 年度
実施延人数	448 人	454 人

③指定通所介護（デイサービス）・介護予防通所介護事業

利用者宅に送迎を行い、デイサービスセンターにて食事や入浴、レクリエーションなど各種サービスを提供しました。また、ひきこもりがちな高齢者の社会参加や心身機能維持・向上を図るとともに、ご家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。(利用料：介護保険の負担割合に準ずる。食事代は実費負担。)

	令和元年度	平成 30 年度
実施日数	292 日	290 日
利用延人数	6,685 人	7,264 人
1 日平均利用人数	22.9 人	25.0 人

④障害者（児）ホームヘルプサービス（居宅介護、同行援護、移動支援）

障害福祉サービスの受給者証を発行されている方のお宅に訪問介護員がお伺いし、身体的サービスや家事サービスを行います。

	令和元年度	平成 30 年度
活動延人数	195 人	206 人

⑤訪問支援サービス事業（独自事業）

介護保険・障害者総合支援法などを利用されている方が、制度外のサービスや制度を利用できない方に対して、在宅で自立した生活が出来るよう、適正なサービスを提供する事業です。

(利用料：生活支援 30 分 1,000 円～、身体介護 30 分 1,500 円～)

	令和元年度	平成 30 年度
契約者数	2 人	30 人
収 益	26,400 円	48,200 円

(2) 賛助会員の加入促進（口数）

社会福祉協議会の事業の充実を図り、「志免町に住んでよかった」という“ふくしのまちづくり”をめざすため、賛助会への加入を広く呼びかけています。

（賛助会費：1口1,000円、特別賛助会費：1口10,000円）

	令和元年度	平成30年度
口数	5,306口	5,343口
金額	5,306,000円	5,343,000円

(3) 共同募金運動の強化

募金への協力をお願いした結果、次の実績をおさめました。

	令和元年度	平成30年度
目標額	9,974,963円	9,781,752円
実績額 (内訳)	9,705,093円	9,974,963円
戸別募金	7,565,077円	7,726,835円
法人募金	1,293,303円	1,379,363円
有志募金	205,786円	302,403円
街頭募金	316,085円	314,627円
学校募金	95,440円	113,072円
箱設置募金	135,675円	59,102円
バッジ、図書・クオカード等	50,758円	62,650円
赤い羽根自動販売機募金	15,609円	16,911円
寄付付き商品	27,360円	—

※寄付付き商品は、「Nino cafe」様の「赤い羽根ランチセット」の1セットを売り上げる度に30円を共同募金に寄付して頂いています。

(4) 町民、団体等からの支援（一般寄付・香典返し）

有志の方からのご厚意による、善意のご寄付や親族の方がお亡くなりになられた際のご香典の一部を事業運営に使わせていただいています。

	令和元年度	平成30年度
寄附金	24件 408,353円	29件 485,276円
香典返し	8件 680,000円	12件 444,600円
物品	1件 ラジカセ等	4件 お米

3. 介護保険事業、障害者総合支援事業の拡大と推進

(1) 自主事業の安定経営と財源確保

- ・制度改革にも対応できるサービス構造への転換

令和元年度から「デイサービス輝き」において、記録などの事務作業の簡略化を進めるため、タブレットを使った入力システムを導入しました。

- ・従事者の研修、勉強会の参加と資質の向上

職場内研修の実施に加え、必要に応じて外部研修に参加しました。

- ・事業所間の連携によりサービスの向上

事業所間で定期的な情報交換を行うなどの連携を行い、サービスの向上に努めました。

4. 社協の組織体制強化

(1) 理事会・評議員会および専門部会の開催

- ・理事会・評議員会の開催

理事会 6 回、評議員会 2 回

- ・専門部会の開催

総務部会 0 回、福祉部会 2 回、広報部会 6 回、財政部会 1 回

(2) 役職員の研修会参加と勉強会実施、職員の資質向上

- ・役員：四者合同研修会および四者合同会議にて、地域福祉活動および赤い羽根共同募金運動についての研修を行いました。

- ・職員：職場内研修を年 4 回実施し、必要に応じて外部研修に参加しました。